

電子複写不可

1205

昭和二〇、一、三

海上挺身基地才三六隊勤務才三隊戦閉詳報

沖繩 332

防衛研修所戦史部

1205

昭和二十年一月三日

真榮里附近戰鬥詳報

海上挺進基地第三大隊勤務第三班

23726

9660 #  
15. 6340

目次

- 一 戰鬪前ニ於ケル彼我形勢ノ概要
  - 二 敵ノ兵力編成裝備
  - 三 各時期ニ於ケル戰鬪經過ノ概要
  - 四 戰鬪後ニ於ケル彼我形勢ノ概要
- 附圖第一 戰鬪要圖
- 附表第一 死傷表

- 一 戰鬪前ニ於ケル彼我形勢ノ概要
  - 中隊ハ沖繩南部眞榮里附近ニ展開シ海上挺進線準備ヲシテ全カヲ以テ舟艇用洞窟開鑿作業中カ有力ナル敵機動部隊ハ沖繩本島南方海面大東島附近ニ蠢動セルモノ如シ
- 二 敵ノ兵力編成裝備
  - グラマン戰鬪機十二機
- 三 各時期ニ於ケル戰鬪經過ノ概要
  - 昭和二十年一月三日(中隊長)連基ニ大作命第三十機ニ
  - (後記)ニ依リ西濱屋松林附近ニ至リ地形偵察主力ヲ以

テ真榮里北方台地ニ於テ舟艇用洞窟ノ開鑿作業ヲ行中。九三。敵艦載クラン戦闘機隊約五十機本島ニ進出其一一部ハ編隊ヲ以テ真榮里南方ヨリ那霸方向ニ來襲ス  
中隊ハ一時作業ヲ中止シ開鑿中ノ壕ニ待避セシモ次回ノ波状攻撃ヲ豫想シ中隊長ハ左ノ命令ヲ下達ス

命令

一月三日 〇九・三〇  
於西濱屋松林

- 一、敵艦載機ハ飛行場ヲ攻撃中
- 第二、第三波ノ攻撃ヲ豫想セラル
- 中隊ハ速カニ對空戦闘ヲ準備セントス
- 二、第一、第三小隊ハ速カニ西濱屋附近ニ舟艇ノ

掩体ヲ構築スヘシ

第三小隊ハ對空射撃部隊トナリ現作業場高地  
中腹附近ニ長周陣地ヲ占領スヘシ  
四中隊長ハ西濱屋松林附近ニ在リ

中隊長 沼田中尉

下達法 傳令ヲ集メ口達

舟艇被匿ノタメ西濱屋松林附近ノ地形ヲ偵察中ナリシ  
中隊長ヨリ右命令ヲ受ケ各小隊ノ傳令ハ直チニ作業場ニ向ヒ急進ス

敵機ハ小隊飛行場ヲ急襲シ又轉再ヒ糸満トシ真

四 戦闘後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

敵機ハ飛行場攻撃後南方ニ脱去セルモ第二、第三波  
 小隊又作業場高地中腹ニ陣地ヲ占領ス時既  
 敵機ハ再度飛行場ヲ攻撃シタル後南方ニ脱去シア  
 リタリ  
 (戦闘經過ノ概要要圖附圖第一ノ如シ)

敵機ハ飛行場攻撃後南方ニ脱去セルモ第二、第三波

敵機ハ再度飛行場ヲ攻撃シタル後南方ニ脱去シア

小隊又作業場高地中腹ニ陣地ヲ占領ス時既

敵機ハ再度飛行場ヲ攻撃シタル後南方ニ脱去シア

リタリ

(戦闘經過ノ概要要圖附圖第一ノ如シ)

体ノ構築ヲ續行ス 第二小隊ハ一、二、五空襲警

報解除ト同時ニ一部ヲ以テ對空監視ニ充テ、残部ヲ

舟艇用掩體構築ニ助力セシメ、一五、一四個ノ

掩體ヲ完成セリ

連基三六作命第三十号ノ二

連絡基地第二十六大隊命令 一月三日、五、

第三中隊ハ昨日揚陸セル舟艇ヲ西濱屋松林(合山)

以南ノ舟艇掩体内ニ分散偽装シ掩護警戒ノ

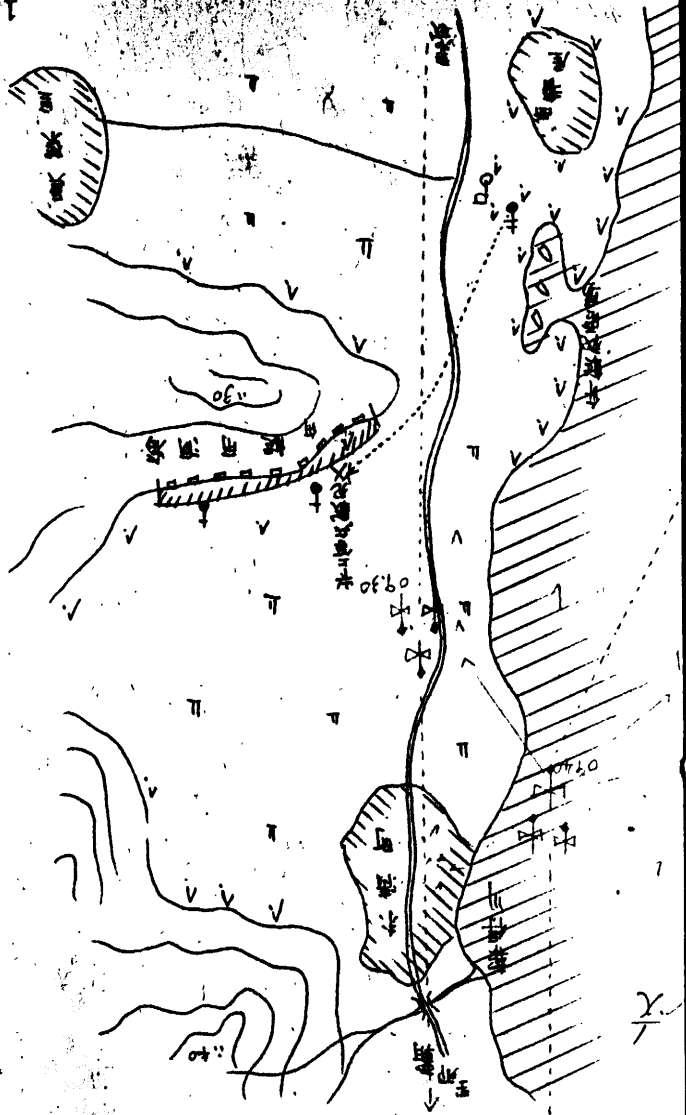
萬全ヲ期スルト共ニ加修ニ際シ整備中隊ニ協力スヘシ

二予ハ糸満南端ニ在リ

二予ハ糸満南端ニ在リ



一月三日、五、



附表第一

真榮里附近戰鬥死傷表				
計	生死不明	戰傷	戰死	死傷別分
				將
				校
				下士官
			一	兵
			一	計

昭和二十年一月三日

眞榮里附近戦闘詳報

海上挺進基地第二大隊勤務第三中隊



RS-9224-  
13  
16  
11  
15



目次

- 一 戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要
  - 二 敵ノ兵力編成裝備
  - 三 各時期ニ於ケル戦闘經過ノ概要
  - 四 戦闘後ニ於ケル彼我形勢ノ概要
- 附圖第一 戦闘要圖
- 附表第一 死傷表

- 一 戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要
  - 中隊ハ沖繩南部ト眞榮里附近ニ展開シ海上挺進線準備タテ全カヲ以テ舟艇用洞窟開鑿作業中カ有力ナル敵機動部隊ハ沖繩本島南方海面大東島附近ニ蠢動セルモノ如シ
- 二 敵ノ兵力編成裝備
  - グラマン戦闘機 十二機
- 三 各時期ニ於ケル戦闘經過ノ概要
  - 昭和二十年一月三日〇八（中隊長カ）。連基ニ大命第三十號（二）
  - （後記）ニ依リ西濱屋松林附近ニ至リ地形偵察ノ生カヲ以

テ真榮里北方台地ニ於テ舟艇用洞窟ノ開鑿作業ヲ續  
行中。九三。敵艦載グラマン戦闘機隊約五十機本島ニ進次  
其ノ一部ハ編隊ヲ以テ真榮里南方ヨリ那霸方向ニ來襲ス  
中隊ハ一時作業ヲ中止シ開鑿中ノ壕ニ待避セシモ次回  
ノ波状攻撃ヲ豫想シ中隊長ハ左ノ命令ヲ下達ス

命令

一月三日 〇九、三〇  
於西濱屋松林

- 一、敵艦載機ハ飛行場ヲ攻撃中
- 第二、第三波ノ攻撃ヲ豫想セラル
- 中隊ハ速カニ對空戦闘ヲ準備セントス
- 二、第一、第三小隊ハ速カニ西濱屋附近ニ舟艇ノ

掩体ヲ構築スヘシ

- 三、第二小隊ハ對空射撃部隊トナリ現作業場高地
- 中腹附近ニ展開陣地ヲ占領スヘシ
- 四、中隊長ハ西濱屋松林附近ニ在リ

中隊長 沼田中尉

下達法 傳令ヲ集メ口達

舟艇秘匿ノタメ西濱屋松林附近ノ地形ヲ偵察中ナリシ  
中隊長ヨリ右命令ヲ受ケ各小隊ノ傳令ハ直ニ工作  
業場ニ向ヒ急進ス

敵機ハ小隊飛行場ヲ急襲シ反轉再ビ糸満ノ真

四 戦闘後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

敵機ハ飛行場攻撃後南方ニ脱去セルモ第二、第三波

リタリ (戦闘經過ノ概要ノ要圖附圖第一ノ如シ)  
タルモ、第一、第三小隊ハ直ニ西邊屋松林ニ至リ第二  
小隊又作業場高地中腹ニ陣地ヲ占領ス時既ニ  
敵機ハ再度飛行場ヲ攻撃シタル後南方ニ脱去シテ  
中隊ハ命令ヲ傳達シ、為急進中ナリシ傳令一名ヲ失ヒ

体ノ構築ヲ續行ス、第二小隊ハ一、二、五空襲警  
報解除ト同時ニ一部ヲ以テ對空監視ニ充テ、残部ヲ  
舟艇用掩體構築ニ協力セシメ、一五〇、一四個ノ  
掩體ヲ完成セリ

連絡基地第二十六大隊命令 一月二日。五時

第三中隊ハ昨日揚陸セル舟艇ヲ西邊屋松林(念ハ)

真南ノ舟艇掩体内ニ分散偽装シ掩護警戒ヲ  
兼全ヲ期スルト共ニ加修ニ際シ整備中隊ニ協カス  
二予ハ糸満南端ニ在リ



附表第一

真榮里附近戰鬥死傷表

計	生死不明	戰傷	戰死	死傷別分
				將
				校
				下士官
				兵
一			一	
一			一	計

1224

9.

三  
海軍里附近  
物年詳報

昭示二〇一三  
海上航運基地  
同 於二十六日  
於三中队